

***BOSE***<sup>®</sup>



# ControlSpace<sup>®</sup> WP22BU-D

2-in/2-out Dante™ウォールプレート

以下の記号は、電気製品の潜在的危険性を警告する国際的に認められた記号です。



この記号は、表示される箇所にかかわらず、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることを注意喚起するものです。



この記号は、表示される箇所にかかわらず、付属文献の中で取り扱い上およびメンテナンス上、重要な項目であることを注意喚起するものです。マニュアルをお読みください。



**警告：**現地および国の全ての規制要件を満たしている安全機関 (UL, CSA, VDE, CCC) 承認済みの電源を使用してください。

**警告：**本製品は専門の施工業者による設置のみを対象としています。本書は、一般的な固定設備システムにおける本製品を対象に、基本的な設置と安全上のガイドラインを施工業者様に提供いたします。設置を開始する前に、本書をお読みください。

**警告：**現地および国の全ての規定に従って設置してください。



**注意：**IEC/UL 60950 安全規格で定義されている有限電源 (LPS) またはクラス 2 電源のみを使用してください。

**注意：**この装置の電力が PoE ネットワークから供給される場合、そのネットワークは、建物の外部から来たり、建物から出ていない必要があります。

1. 本書をよくお読みください。
2. 本書を保管しておいてください。
3. 製品上および本書に示されている全ての警告に留意してください。
4. 全ての指示に従ってください。
5. この製品を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は乾いた布を使用してください。
7. 換気孔は塞がないでください。メーカーの指示に従って設置してください。
8. ラジエーター、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発生する装置 (アンプを含む) の近くには設置しないでください。
9. 極性プラグを使用する場合、極性プラグや接地極付きプラグの安全機能を損うような使い方はしないでください。極性プラグには 2 つの端子があり、片方の端子がもう一方の端子よりも幅が広がっています。また、接地極付きプラグには 2 つの端子に加え、接地用のアース棒が付いています。極性プラグの広い方の端子および接地極付きプラグのアース棒は、お客様の安全を守る機能を果たします。製品に付属のプラグがお使いのコンセントに合わない場合は、電気技師に連絡して新しいコンセントに取り替えてください。
10. 電源コードが踏まれたり挟まれたりしないように保護してください。特にプラグやテーブルタップ、装置側の接続部などには注意してください。
11. 製造元の指定するアタッチメントまたはアクセサリのみを使用してください。
12. 製造元の指定する、または製品と一緒に購入されたカート、スタンド、三脚、ブラケット、または台以外の使用は避けてください。
13. カートを使用する場合、製品の載ったカートを移動する際には転倒による負傷が起きないように十分注意してください。
14. 雷雨時や長時間使用しない場合は、装置の電源を抜いてください。
15. サービスが必要な際には、必ず資格を持つサービス担当者にお任せください。電源コードやプラグが損傷した場合、装置に液体がこぼれたり物が落下した場合、装置に雨や水滴が付着した場合、正常に機能しない場合、装置を落とす場合など、装置に何らかの損傷がある場合はサービスが必要です。

- 外部電源を使用してこの装置に電力を供給する場合は、その電源を保護アース接続済みの AC 電源コンセントに接続する必要があります。
- 恒久的に接続する場合は、各極の接点間隔が 3mm 以上である全極型電源スイッチを建物の電気設備に組み込む必要があります。
- ラックに取り付ける場合は、十分な換気を確認してください。設備はこの装置の上または下に配置できませんが、一部の設備（大型のパワーアンプなど）は、許容できない量の熱を発生させたり、過大な熱を発生してこの装置の性能を低下させたりする可能性があります。



火災や感電を避けるため、雨の当たる場所や温度の高い場所で製品を使用しないでください。

**注意：**この装置は、FCC 規則および EN55022 のパート 15 に従って試験されており、クラス A デジタル機器の制限事項に準拠していることが確認されています。これらの制限事項は、装置が商業環境で運用される際に有害な妨害に対する適度な保護を提供することを目的としています。この装置は、無線周波数エネルギーを生成および使用し、場合によっては放射することがあり、取扱説明書に従って設置および使用しなかった場合は、無線通信に有害な妨害を引き起こす可能性があります。住宅地でのこの装置を運用すると、有害な妨害を引き起こす可能性があります。その場合、ユーザーは自己負担で妨害を是正する必要があります。



この記号は、製品を家庭ごみとして廃棄してはいけなく、およびリサイクル用の適切な集積施設に引き渡す必要があることを意味します。適正な廃棄とリサイクルは、天然資源、人の健康、および環境の保護に役立ちます。本製品の廃棄とリサイクルの詳細については、地方自治体、廃棄物処分業者、または本製品を購入した店にお問い合わせください。

#### 有毒または有害な物質や要素の名称と内容

部品名	有毒または有害な物質と要素					
	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (CR (VI))	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	X	0	0	0	0	0
金属部品	X	0	0	0	0	0
プラスチック部品	0	0	0	0	0	0
スピーカー	X	0	0	0	0	0
ケーブル	X	0	0	0	0	0
0: この部品の全ての均質材料に含まれているこの有毒または有害物質が SJ/T 11363-2006 の制限要件を下回っていることを意味します。						
X: この部品に使われている均質材料の少なくとも1つに含まれているこの有毒または有害物質が SJ/T 11363-2006 の制限要件を上回っていることを意味します。						

©2015 Bose Corporation. All rights reserved. 全ての商標は、それぞれの所有者の財産です。

## 概要

ControlSpace® WP22BU-D Dante™オーディオインターフェースは、ほとんどの2コ用のジャンクションボックス (US規格) に適合するように設計された費用効果の高いマルチ I/O ウォールプレートです。WP22BU-D のサイズと集約された I/O により、Dante のコネクティビティをどこでも必要な場所に加えることが可能です。そのため、高価で干渉しがちなアナログ配線の削減が可能です。

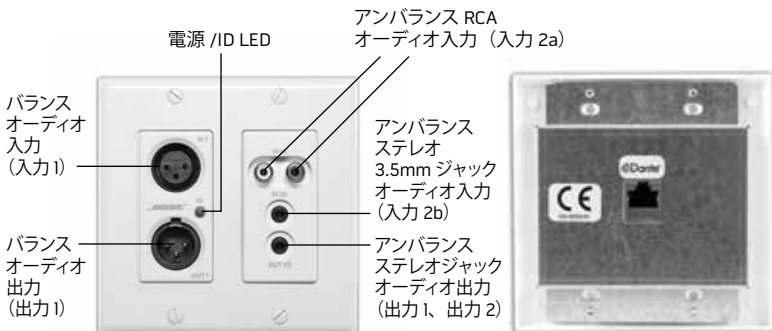


図1. ControlSpace WP22BU-Dウォールプレートの正面と背面

WP22BU-D は、2つの Dante 入力チャンネルと2つの Dante 出力チャンネルを備えています。アナログ I/O は、さまざまな接続構成をサポートするように Bose® ControlSpace Designer™ソフトウェアで設定することができます。XLR コネクターは、バランスのマイク/ラインオーディオを Dante 出力チャンネル1に提供します。一方、

2 番目の Dante 出力は以下のいずれかの入力ミックスを提供します。

- RCA ジャック入力のモノミックス
- 3.5mm ステレオジャック入力のモノミックス
- RCA 入力とステレオジャック入力の複合ミックス

ミックス選択は、ControlSpace Designer ソフトウェアで設定できます。

WP22BU-D には 2 つの出力オプションがあります。XLR コネクターは、アナログ出力 1 のバランスのライン出力を提供し、3.5mm ステレオジャックコネクターは、アナログ出力 1 とアナログ出力 2 のアンバランスのラインレベル出力を提供します。両方の出力コネクターは同時に使用できます。

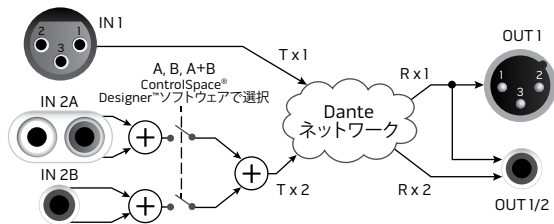


図 2. WP22BU-D内部オーディオブロック図

Dante ネットワークへの接続は、製品背面に 1 つあるイーサネット RJ-45 コネクターによって提供されます。WP22BU-D は、適切な PoE ソース (IEEE 802.3af) からネットワークケーブルで PoE 給電されるため、ローカル電源は必要ありません。このデバイスの特定の機能とオーディオルーターを設定するには、ControlSpace Designer ソフトウェアを使用します。

**注意：**WP22BU-D には上部の金属ハウジングの前面にラベルがあり、MAC アドレスの最後の 6 桁が記載されています。初期のデバイス認識にとって重要なこれらの桁は、ControlSpace Designer ソフトウェアによって検出されたときのデバイスのデフォルトネットワーク名の一部です。装置の背面には完全な MAC アドレスも示されています。

## 梱包内容

WP22BU-D には以下のものが同梱されています。

- WP22BU-D デバイス
- 取り付け用ねじ
- 前面プレート

## 取り付け

一般的な設置では、2 コ用のジャンクションボックスまたははさみ金具を用いてウォールプレートを取り付けます。作業を始める前に、WP22BU-D を設置する壁のボックスが適切なネットワークケーブルで PoE 対応ネットワークスイッチまたはミッドスパンインジェクターに事前に配線されていることを確認してください。ミッドスパンインジェクターを使用する場合は、イーサネットと電力の両方を供給するポートにケーブルを接続する必要があります（どのポートが分からない場合は、装置のマニュアルを参照してください）。

ネットワークケーブルをスイッチ / ミッドスパンインジェクターから Dante WP22BU-D の Dante ネットワークポートに接続します。スイッチまたはミッドスパンインジェクターがすでに動作していて、PoE が有効になっている場合は、デバイスが起動し、デバイスの前面にある緑色の ID LED が点灯します。

ケーブルが接続されている状態で、ケーブル配線を巻き込まないように注意しながら WP22BU-D を壁のボックスに挿入します。所定の位置に挿入したら、付属の取り付け用ねじで固定します。最後に、前面プレートに付属しているねじで前面プレートを固定します。

## ハードウェアの接続

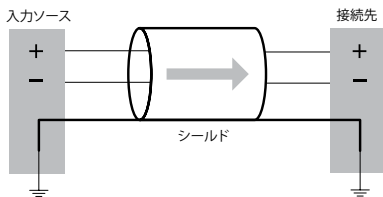
WP22BU-D は、アンバランスまたはバランスのオーディオ機器を受けて動作します。各種オーディオ機器の接続については、以下の図と指示を参照してください。システム全体を通じて最良のオーディオパフォーマンスを実現するために、プロフェッショナルグレードのオーディオケーブル配線を推奨します。

### 入カソース ( バランス ) から接続先 ( バランス ) の接続

2 芯のシールドケーブルを使用して、バランスの入カソースを WP22BU-D の XLR 入力に接続するか、バランスの接続先と WP22BU-D の XLR 出力を接続します。

芯線を使用して、+ 出力を + 入力に接続し、- 出力を - 入力に接続します。シールド線を使用して、出力側のグラウンドを入力側のグラウンドに接続します。

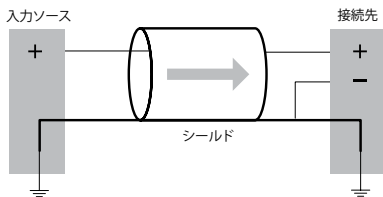
図 3.  
バランスの入カソースと  
バランス接続先の  
接続



## 入力ソース (アンバランス) からの接続先 (バランス) への接続

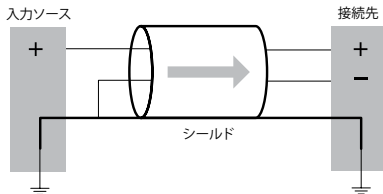
1 芯のシールドケーブルを使用して 2 線式アンバランスソースを WP22BU-D の XLR 入力に接続する場合や、RCA またはステレオジャックのアンバランス出力信号を WP22BU-D から別の装置のバランス入力に接続する場合は、アンバランスの入力ソースの + 出力をバランスの接続先の + 入力に接続します。ソース側のグラウンドと接続先のグラウンドを接続し、接続先の一入力を接続先の入力でシールドに短絡させます。

図 4.  
2線式アンバランス  
ソースとバランス  
接続先の接続



同じ接続で 2 芯シールドケーブルを使用する場合は、+ とグラウンドを前述の要領で接続しますが、入力ソース側で - をシールドに短絡させます。

図 5.  
3線式アンバランス  
ソースとバランス  
接続先の接続

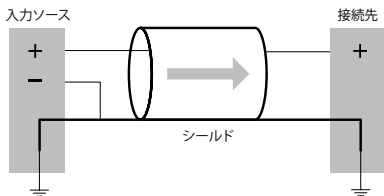




## 入力ソース ( バランス ) から接続先 ( アンバランス ) への接続

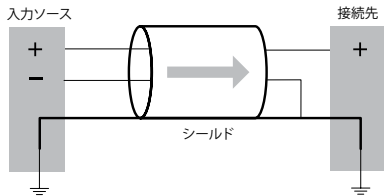
1 芯のシールドケーブルを使用してバランスソースを WP22BU-D の RCA またはステレオジャック入力に接続する場合や、XLR 出力を WP22BU-D から別の装置のアンバランス入力に接続する場合は、バランスの入力ソースの + 出力をアンバランスの接続先の + 入力に接続します。ソース側のグラウンドと接続先のグラウンドを接続し、ソースの - 入力をソースの出力側でシールドに短絡させます。

図 6.  
3線式バランスソースと  
アンバランス  
接続先の接続



同じ接続で 2 芯のシールドケーブルを使用する場合は、+ とグラウンドを前述の要領で接続してから、ケーブルの接続先側で - をシールドに短絡させます。

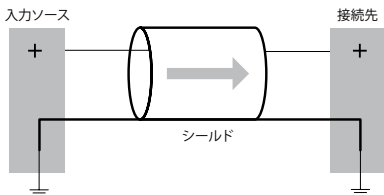
図 7.  
3線式バランスソースと  
アンバランス  
接続先の接続



## 出力 (アンバランス) からの接続先 (アンバランス) への接続

アンバランスの入カソースを WP22BU-D の RCA またはステレオジャック入力に接続する場合や、ステレオジャック出力をアンバランス接続先に接続する場合は、+ 出力を接続先の+入力に接続し、グラウンドはシールドに接続します。

図 8.  
アンバランスソースと  
アンバランス  
接続先の接続



## デバイスの設定

本製品にはソフトウェアで設定する必要がある部分が2つあります。1つはオーディオルーティング、もう1つはデバイスの変更可な機能項目の設定です。どちらの設定も、ControlSpace® Designer™ソフトウェアを使用して実行する必要があります。

## 技術仕様

オーディオ入力	
入力チャンネル	アナログ×2、バランス (XLR) およびアンバランス (RCA および / または 3.5mm)
コネクタ	XLR × 1、RCA ペア × 1、3.5mm TRS × 1
ファンタム電源	+48VDC、ソフトウェアで選択可能 (XLR 入力のみ)
ゲイン設定	0/+25/+40dB、ソフトウェアで選択可能 (XLR 入力のみ)
入力インピーダンス	任意のゲイン設定で1.8k Ω以上
入力換算ノイズ	-115dBu (+40dB ゲイン)
最大入力レベル	+12dBu @ 0dB ゲイン
オーディオ出力	
出力チャンネル	アナログ×2、バランス (XLR) およびアンバランス 3.5mm (Dante 信号の損失時に自動ミュート)
コネクタ	XLR × 1、3.5mm TRS × 1
出力ノイズ	-90dBu 未満
最大出力レベル	+12dBu

## ソフトウェアアプリケーション

ControlSpace® Designer ™ソフトウェア v4.2 以降

## 全般

デジタル変換	8kHz/24 ビット
システム THD	任意のゲインで 0.01% 未満、最大値を 3dB 下回る入力信号
PoE クラス	Class 0 802.3af PoE PD 準拠
認証	FCC Part 15 Class A、CE (EN 55022 Class A)
寸法	2.75 インチ H × 3.60 インチ W × 1.88 インチ D (70mm × 91mm × 48mm)
動作温度	32 °F ~ 104 °F (0 °C ~ 40 °C)
製品コード	738678-0010

Dante ™は Audinate Pty Ltd. の商標です。



744552-0010

ボーズ株式会社 <http://www.bose.co.jp/>**BOSE**  
Better sound through research

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご了承願います。

OM-1552-C  
16・1(B)